

■米国：PJM 容量市場オークション結果：主要地域では約 25%の下落

PJM は 2017 年 5 月 23 日、2020 年 6 月 1 日から 2021 年 5 月 31 日を対象とした容量市場オークションの結果を発表した。系統容量の制限や発電所閉鎖の影響により、ComEd 管内では 188.12 ドル/MW・日（前年 202.77 ドル/MW・日）、MAAC（Pepco、BG&E を含む地域）管内では 86.04 ドル/MW・日（前年 100 ドル/MW・日）と下落したものの、比較的高い水準にある。また、EMAAC（PSE&G、ジャージー・セントラル・パワーを含む地域）管内では 187.87 ドル/MW・日（前年 120 ドル/MW・日）、昨年までは分かれていなかった Duke 管内では 130 ドル/MW・日（前年 100 ドル/MW・日）と上昇した。このほかの系統容量の制限や発電所閉鎖の影響のない地域では 76.53 ドル/MW・日となり、前年を対象としたオークション結果の 100 ドル/MW・日の 3/4 程度に下落した。今回のオークションは初めて全量が容量パフォーマンス資源から調達が行われた。容量パフォーマンス資源とは、ペナルティ対象期間中のパフォーマンスによりペナルティやボーナスを受け取るもの。今回の下落について、PJM 管内での発電設備新設ラッシュの終焉の表れとみる分析もある。